

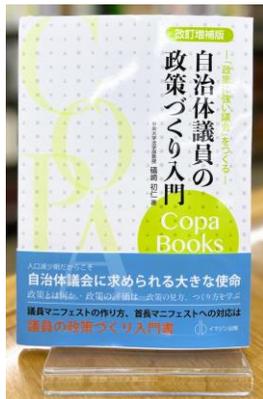


『「AI議員」が誕生する日
～SNS選挙が政治を変える』
高橋 茂【著】/集英社 (2025/12)



有権者が候補者の情報を得る手段として、SNSやYouTubeなどの重要度が高まっている。そんな選挙とSNSの関係、問題点を解説。また、「AI議員」は誕生するか、AIを政治にどう生かせるかも分析する。

『自治体議員の政策づくり入門
～「政策に強い議会」をつくる
(改訂増補版)』
磯崎 初仁【著】/イマジン出版 (2025/7)



「自治体議会の役割」は何か。人口減少時代の自治体議会に、何が求められるているのか。政策立案・審議・決定、執行の監視・評価、住民に政策を問うマニフェストなど、「政策づくり」をわかりやすく解説。

『地方議会人の予算・決算入門
～議会の監視・政策提言力を高めよう』
佐藤 綾子【著】/中央文化社 (2025/10)



議会の監視・政策提言力を高めるため、地方議員はどのように自治体の予算・決算情報にアプローチすればよいか？ 予算・決算に関する基礎知識をはじめ、最新事例、用語解説も掲載。わかりやすくまとめられた入門書。

『ユニバーサルデザインモビリティの展望
～誰もが移動できる社会へ』
西山 敏樹・田中 晴美【著】/近代科学社Digital (2025/10)



高齢化などで移動困難者が増加する一方で、公共交通は大幅減便。生活者は移動がままならない状況だ。そこで、移動困難者でも安心して使える「ユニバーサルデザインモビリティ」を紹介。皆が自由に移動できる社会を目指す。

『田舎の思考を知らずして、地方を語る
ことなかれ
～過疎地域から考える日本の未来』
花房 尚作【著】/光文社 (2025/8)



「田舎」のネガティブなイメージは、都会人から発信されており、彼らの都合を押し付けているのではないかと著者は語る。都会と異なる思考を明らかにし、田舎で暮らす人々の日常から、日本の未来を考える。

『傷つけ合う子どもたち
～大人の知らない、加害と被害』
石井 光太【著】/CEメディアハウス (2025/11)



いじめ、性の問題行動、SNSでの誹謗中傷、暴力、自傷。そんな現代の子どもを取り巻くトラブルのメカニズムを徹底解説し、「加害の背景」「被害拡大の過程」を紐解く。トラブルを無くすために、大人に必要な心構えとは？

『言語学者、生成AIを危ぶむ
～子供にとって毒か薬か』
川原 繁人【著】/朝日新聞出版 (2025/10)



生成AIと人間の言語システムには、決定的な違いがある。それにも関わらず、言語習得過程の子どもたちに、スマホ等の「おしゃべりする生成AI」が手渡されようとしている。自身も父親である言語学者が、切実な危機感を込めて警鐘を鳴らす。

『ウェルビーイングな日本』
三浦 展【著】/而立書房 (2025/10)



高齢化、少子化、AI化、気候変動、戦争。激動の時代をどう捉えるか。コロナ禍以後に変化した人々の生活、仕事の仕方、都市空間を分析しながら、「ウェルビーイング」をキーワードに、日本の未来像を展望する。

▶ 「女性の社会・政治参画」に関する書籍



『女性議員は「変な女」なのか』

野田 聖子・辻本 清美【著】/小学館 (2025/6)



生まれも育ちも違うのに、なぜか仲の良い著者2人。超男社会の国会で、「女のくせに変な人」と指差されながらも、信念に従い議員を続けてきた彼女達と、どう働き、どう政治にコミットしていくかを考える、元気あふれる対談本！

『男女賃金格差の経済学』

大湾 秀雄【著】/日経BP (2025/6)



男女の賃金の平均を単純に比較するだけでは、実態も改善度も分からない。日本企業の実情や男女の行動特性まで踏まえ、真の格差をいかに測り、改善するか、最新の経済学の実装の仕方を解く1冊。

『自由（上・下巻）』

アンゲラ＝メルケル【著】長谷川 圭・柴田 さとみ【訳】/KADOKAWA (2025/5)



著者は16年にわたりドイツ連邦共和国の首相として、世界の政治をリードしてきた。東独出身の彼女が、いかにして統一ドイツ初の女性首相になれたのか？ 対立が激化する時代における、彼女の政治活動を振り返る。

『政治って、面白い！』

～女性政治家24人が語る仕事のリアル～

三浦 まり【編著】/花伝社 (2023/5)



「なぜ政治家になったの？」「どんな人が向いているの？」「何から始めればいいのか？」「政治家ってキャリアになるの？」 地方議員から国会議員まで、超党派の女性政治家24人が語り尽くす「仕事の魅力」！

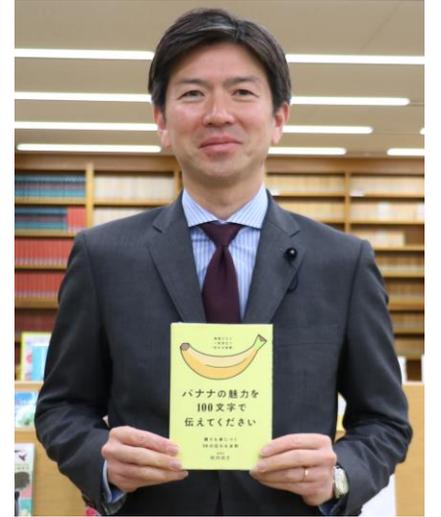


図書広報委員がおすすめる一冊

『バナナの魅力を100文字で伝えてください』



著：柿内 尚文/かんき出版 (2021年12月)



紹介者：亀山 貴史 副委員長
自由民主党・桐生市選出・2期

私がオススメする一冊は、『バナナの魅力を100文字で伝えてください』です。

「バナナ？」と意外に思われるかもしれませんが、この本には、自分の考えや想いを相手に伝えるために何を意識すべきか、どのような工夫や方法があるのかが、分かりやすくまとめられています。

私たちは立場上、日頃から多くの場面で、さまざまな人に対して自らの思いや情報を伝える必要があります。皆さんもそれぞれの立場で、「どう伝えればよいか」と悩む場面に直面したことがあるのではないのでしょうか。

「自分もそうかもしれない」と感じた方は、ぜひ一度、この本を手にとってみてください。

次号では、金沢 充隆 委員におすすめていただきます！



議会事務局政策広報課（議会図書室）